

少年・少女

街の中。
明るい声で歌う少年と少女。

ハンプティ・ダンプティ 塀の上♪

ハンプティ・ダンプティ 落っこちた♪

王様の馬と、家来と、全てで

元に戻せと頑張ったけど…

えーっと、続きは？

何だっけ、覚えてないや。

だったら彼に聞いてみよう？

そうだね、彼女ならなんだって知っている。

知ってるもの。

警官 A

こらこら、ここは危ないから早く帰りなさい。

少年

はーい、あはははっ。

少女

はーい、うふふふっ。

楽しそうに走り去っていく。

警官 A

全く、子供たちは元気だな。

警官 B

昨夜（ゆうべ）の事件もまるで嘘みたいに思える。

警官 A

そうだな、本当に嘘であってくれれば…いいんだけどな。

警官 B

あんな死体、大人でも見られたもんじゃない。

警官 A

まるで卵が割れたような…

警官 B

やめてくれよ、気持ち悪い。
卵料理が食えなくなったらお前のせいだぞ。

警官 A

ああ、すまん。

警官 B

犯人の目星もついてないんだろ？
夜の巡回、また増えるんだらうな。

警官 A

ああ、なんせこれでもう三件目だ。
早く捕まえられると…いいんだけどな…。

夜になり、警備に回る警官。

警官 A

中央ストリート、異常なし。
引き続き巡回を続けます。

…はあ、今夜は早く帰りがかったんだが。

ハンプティ・ダンプティ 塀の上♪

ハンプティ・ダンプティ 落っこちた♪

警官 A

こ、こら君たち、こんな遅くに何をしてるんだ！
早く家に帰りなさい、親御さんたちが心配するだろう！

親御さん？ お父さんとお母さんのこと？

お父さんもお母さんも、いないよ？

いないね。

警官 A

そ、そうか…すまない。
なら、一緒に住んでる人が心配するから…

一緒に住んでる人もいないよ？

いないね。

警官 A

君たち二人だけで、住んでいるのか？

僕と、彼女。

警官 A

彼と、私。
だったら尚更だ。
最近起こっている事件は知っているかい？

犯人はまだ捕まっていないんだ。
君たちも早く帰って、しつかり鍵をかけておくんだ。
事件だった。

少女
事件？

警官 A
そうだ。

夜中に、街の人が殺されているんだ。

少年
殺されている？

少女
殺されている？

警官 A
ああ、そうだ。

頭だけ、まるで高いところから落ちたみたいに……
いや、なんでもない。
いいから、早く帰りなさい……わかったね？

背中を向ける警官、向かい合う少年と少女。

少年
高いところから落ちたんだって。
こわいね。

少女
こわいわ。

ハンプティ・ダンプティみたい。

少年
ハンプティ・ダンプティみたい。

少女
違うのに。

少年
本当は違うのに。

少女
彼に聞こうか？

少年
彼は知ってる？

少女
どうかな？

少年
どうだろう。

警官 A 中央ストリートより、応答願います。

少女 ねえねえ、おまわりさん。

少年 ねえねえ、おまわりさん。

警官 A なんだい？
いま、もう一人呼ぶから送ってもらって……

少女 ハンプティ・ダンプティ 塀の上♪

警官 A ……あ、あ

少年 ハンプティ・ダンプティ 落っこちた♪

警官 A ……ひいっ

少女 王様の馬と、家来と、全てで

少年 元に戻せと頑張ったけど

少年・少女 ……続き、知ってる？

警官 A うわあああああああああ！！！！

警官 B こちら中央司令部、どうした。

……おい、どうした、何があった！

応答しろ！ 何があった！！ おい！！

少年 ふふふっ、あははは。

少女 ふふふっ、あははは。

少年・少女 **少年と少女の笑い声が響いている。**
ハンプティ・ダンプティ 塀の上♪

ハンプティ・ダンプティ 落っこちた♪

王様の馬と、家来と、全てで
元に戻せと頑張ったけど…

少女 えーっと、続きは？

少年

何だっけ、覚えてないや。

少女

だったら彼に聞いてみよう？

少年

そうだね、彼女ならなんだって知っている。

少女

知ってるもの。

少年・少女

……ねえ。

きみは、知ってる？